

私の海外研究と日系人人材活用

地域共同研究センター NEDOフェロー 産学官連携コーディネータ

とうくら ゆうじ
藤倉 雄司



新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDOは、個々の民間企業だけでは実施できない研究開発を産業界、大学、公的研究機関とのネットワークと公的資金を活用して推進していきます。

1. 南米大陸の植物・動物資源の紹介



NASAの宇宙食に採用された雑穀キヌアは、アカザの仲間。

アンデスには、固有の根菜類が多数見られる。

豊富なジャガイモの品種・ペルーの国際ジャガイモセンターには3000種以上の品種が保存されている。

ウイキニャ・南米固有のウグダの仲間(毛刈りして利用されている)。

2. 日系人人材活用の可能性について

南米には多くの日系人社会があります。地域共同研究センターでは、JICAとの連携により、日系人社会の担い手の人材育成を計画しています。

↓
畜産大学および十勝における技術研修

↓
進学や就職(インターンシップ)

↓
日系社会と十勝とのパイプ造り

期待される効果

- ・将来的な就労者の確保
- ・十勝から南米への展開
- ・南米から日本への展開



ボリヴィア・サンファン農牧総合協同組合では、養鶏100万羽を保有している他、コメ、ダイズ、柑橘類、マカダミアナッツなどの栽培や、肉牛生産を行っている。(組合数109戸、出資金4,949,237ドル)

この他に、南米では、ボリヴィア・オキナワ農協、パラグアイ・イグアス農協が運営されています。